

# 「第3回世界伝統武術フェスティバル」開催の詳細決定

10月28日～11月2日 中国・湖北省武当山

日本連盟への出場申込締切りは9月1日(月)

国際武術連盟（IWUF）と中国武術協会が共催で実施する「世界伝統武術フェスティバル」は、第1回大会を2004年に、第2回大会を2006年に、中国河南省鄭州市で開催し、両大会には日本からも多数の団体が参加した。

「第3回大会」は、今年10月28日～11月2日に、中国・湖北省十堰市（じゅっせきし）で開催されることになり、このほど大会実施要綱等の詳細が国際武術連盟から発表された。

過去の2大会は、河南省鄭州市が「少林寺」と「太極拳」発祥の地にゆかりの場所であったことが呼び物であったが、第3回大会が開催される十堰市は、伝統武術のなかでも「内家拳」と称され、「太極拳」ともかわりの深い「武当山」の所在地であることが最大の特徴。また「武当山」にはユネスコ世界遺産に登録されている「古建築群」がある。

大会期間中に、「武当山」を訪れるツアーが計画され、ゆかりの内家拳、太極拳の名師による講演会、演武会も行われる予定

この大会は「伝統武術の世界的な発展と交流」という開催趣旨に基づいて、各国・地域からの参加人数に制約を設けず、多くの参加者を求めている。

日本連盟は、都道府県連盟加盟団体はもとより非加盟の団体からの参加も受け入れることにしている。

参加資格、申込み方法、参加方法：

## 1) 参加資格；

大会に参加することができるのは、国際武術連盟加盟団体（日本連盟の加盟団体会員、および、日本連盟が参加を認めた団体の会員）、参加チーム数や人数に制限は設けないが、申込みは日本連盟が一括して組織委員会に行なう。個別団体や個人が組織委員会に直接申し込んでも受理されない。

## 2) 申込み手続き：

参加希望団体は、都道府県連盟に送付している申込書類一式（「出場申込書」、「報名表（太極拳・南拳用）」、「報名表（徒手套路用）」、「報名表（器械、対練、集団用）」、「日本連盟宛一括申込書」）を入手して、必要事項を記入したものを、都道府県連盟に提出する。都道府県連盟は、申込み書類を9月1日(月)までに必着するように日本連盟に提出する。

日本連盟は、申込書を受理した後に、参加申込み団体宛に「渡航計画書（組織委員会宛提出用）」を送付する。団体は、「渡航計画書」に到着、帰国日時、交通機関名、便名を記入したものを、9月中旬までに、日本連盟に提出する（詳細日程は後日通知する）。渡航計画書には、希望するホテルの部屋タイプ、部屋数をあわせて記入する。

「渡航計画書」を現地組織委員会に提出する時期が遅れると、参加者のホテルが確保できなくなるので、参加申込みをする団体は、渡航手続きを自己手配して、9月初旬までには渡航詳細を確定させておかなければならない。

### 3) 参加方法 :

日本連盟は出場申込み手続きに責任を負うが、派遣にかかわる実務は行わない。また、日本連盟が参加選手の選抜は行わないので、渡航と現地滞在に関する監督責任者は派遣しない。

本大会の活動は、すべて参加団体の責任で、海外旅行の安全確保の観点から、出発、帰国を判断し、現地滞在中の安全管理を行なっていただく。

参加団体は、各々で旅行社等により、渡航手配をしたうえで、10月28日(火)に現地、十堰市に到着して、大会参加登録の手続きを行い、参加費用を現地の組織委員会に支払う。

#### \* 参加費用

各参加チームは、滞在費用を自己負担する。

三星級ホテル=ダブルルーム1人1日45USドル、シングルルーム60USドル

四星級ホテル=ダブルルーム1人1日50USドル、シングルルーム70USドル

(宿泊・食事費用、現地移動費用、大会出場と全体参観費用、宴会、開会式・閉会式入場料等の費用を含む。)

日本連盟(IWUF加盟)を通じて出場するチームはすべて出場申請料(10USドル)が免除。

#### 大会日程 :

月 日	時間	内 容
10月28日(火)	全日	参加チーム到着、審判員到着
29日(水)	午前	監督・コーチ会議、審判員会議
	全日	審判員会議、チーム練習
	夕刻	開幕式
30日(木)	午前	武当山ツアー
	午後	
	夕刻	太極拳名師講演・演武
31日(金)	午前	武術競技
	午後	内家拳名師講演・演武
	夕刻	武術競技
11月 1日(土)	全日	武術競技
2日(日)	全日	武術競技
	夕刻	閉幕式、名師演武、表彰者演武
3日(月)	全日	帰 国